

河野統合幕僚長 来駐



い
ず
も



発行所 出雲駐屯地
広 報 室

統合幕僚長部隊視察受け

駐屯地は、平成30年4月16日(月) 統合幕僚長(河野海将)の部隊視察を受け、出雲駐屯地の現状及び任務遂行状況を報告した。

出雲駐屯地の概要、即応態勢・災害派遣に関する事項及び航空自衛隊に関する事項についてご視察いただいた。



▲ 状況報告を受ける河野統合幕僚長



▲ 来駐された統合幕僚長

中部方面総監部隊視察受け

駐屯地は、平成30年4月6日(金) 中部方面総監(岸川陸将)の部隊視察を受け、出雲駐屯地の現状及び任務遂行状況を報告した。

駐屯地司令(中谷2佐)による出迎えの後、儀仗よう隊(儀仗よう隊長:第1偵察小隊長 小沢2尉)による儀仗よう、駐屯地本部庁舎前による記念撮影、駐屯各部隊長による幹部挨拶、会食、懇談、状況報告及び隊内巡視が行われた。岸川総監の訓示においては、部隊視察により日々の隊務がしっかりと遂行されていることを確認できたこと、隠岐の島の山林火災への対応、駐屯地に展開する航空自衛隊へのサポートに対する謝辞を頂くとともに新たな年度においても私達の役割に変化はなく、最近の世界情勢から、我々の役割はより重要になっており、国民の期待も大きくなっている。目の前における役割仕事を意志をもって継続して遂行して欲しいとの訓示を受ける等、後の隊務運営の資を得た。



▲ 隊員に訓示を述べる中部方面総監

第304施設隊 団戦技競技会 激闘

▶ 個人走及び銃剣道の部で奮戦する隊員
(写真上:保名曹長・写真下:大場1曹)



▲ 断郊走の部で奮戦する第304施設隊員
(写真左から江戸3曹、石森3曹、高橋2曹、福岡3曹、立石3曹)

第304施設隊(隊長:石川2佐)は平成30年2月14日(水)から15日(木)の2日間、大久保駐屯地において第4施設団戦技競技会に参加した。

これまでの練成の成果を発揮すべく各人が自分を信じ仲間を信じ隊の名譽をかけて競技に挑んだ。

個人走では、全隊員が力強い走りをみせ優勝、断郊走では、各小隊別に9名のチームを編成し、走力のある隊員がチームメイトの武器装具を携行する等、互いに助け合い激走を見せたものの2位2競技を合計した「持続走総合」では、第102施設器材隊(大久保)に僅差で敗退、隊対抗2位の成果を収めた。

銃剣道団体戦においては、11名の選抜選手で戦い、第305施設隊(三軒屋)には、勝利したものの同じく第102施設器材隊に惜敗し隊対抗2位であった。

次年度の団戦技会において雪辱を晴らし、全種目完全優勝する決意を隊員一同共有した。

本競技会において、原田3曹を団長とした応援団を編成し甲子園で有名なニアフリカ・シンフォニー」等を活用した一糸乱れぬ声援により、選手と応援が一体となり大会を盛り上げ、部隊の士気及び団結の強化を図ることが出来た。



平成29年度旅団戦闘射撃(警戒自衛) 競技会に出場して

第13偵察隊 高松 伸行

平成30年2月13日から16日までの間、原村演習場戦闘射撃場において行われた「平成29年度旅団戦闘射撃(警戒自衛) 競技会」に、第1小隊第2分隊の射手として参加をしました。

この射撃は同時に3個の的が現出し、制限時間内に倒した的の数、弾数、射群内の陸士隊員の数という実施規定の中で各部隊の代表と競い合いました。

日々の射撃練成訓練の積み重ねと、分隊長の的確な号令・指揮のもと分隊員が一丸となって競技に臨みましたが一歩及ばず準優勝という結果でした。優勝した分隊とは射倒的数10の差であり、非常に悔しく思いましたが、旅団の表彰台に立たたという嬉々たる経験もさせていただきました。

分隊全員の自信に繋がると思いました。

今回3月23日付をもって、小隊を離れ文書陸曹として勤務することになりましたが小隊に復帰した際に即戦力になれるように今後も練成を重ねていきたいと思えます。



▶ 分隊員に指示を与える
板垣分隊長

▲ 競技に臨む第13偵察隊員

島根県西部地震に伴う災害派遣

4月9日午前1時32分頃、島根県西部を震源とする強い地震があり大田市では震度5強を記録した。

出雲駐屯地各部隊は速やかに隊員を呼集し災害派遣準備を行い、同時に島根県庁及び大田市役所へ連絡員を派遣して状況の把握に努めた。

県から災害派遣要請を受け大田市に給水支援2個組を派遣、鳥取県の米子駐屯地から3個組の増援を受け計5個組で活動し、駐屯地には施設科施設器材を待機させた。

活動地域は富山町、鳥井町、久手町の3カ所であり、大田市役所職員と連携を取りつつ給水活動が行われた。

現場には給水所に行くことが困難な一人暮らしの老人宅もあったが、地域住民の協力もあって全世帯に生活用水を届けることができた。

この地震による負傷者9名の人的被害が確認されているほか、1,000棟以上の建物に被害が確認された。また、水道と電気のライフラインに支障をきたし大田市では約1,100戸以上が断水した。

今回の災害派遣活動によって自衛隊と自治体及び地域住民との関係強化を図るとともに、民生の安定に寄与する事が出来た。



▶ 給水活動を行う隊員



▲ 出動する災害派遣車両

益田まつり支援

出雲駐屯地は、自衛隊島根地方協力本部の依頼を受け、4月15日(日)に益田市駅前商店街路で実施された「第61回益田まつり」を支援した。

まつりの催しの一つである

「動く車展示」コーナーに軽装甲機動車と偵察用オートバイを展示した。駐屯地の隊員3名と自衛隊地方協力本部・地元協力者が協力して来場者に試乗及びミニ制服試着等を行った。

当日の会場は雨模様であり、来場者も約3万名と例年より少ない傾向であったが、多くの家族連れ等が普段見慣れない陸上自衛隊の装備品に興味を持って頂き展示車両の周りは大いに賑わった。

支援を通して自衛隊への関心と理解を深めて頂くとともに、真摯な報告し、防衛基盤の育成を図ることができた。



▲ ミニ制服を試着して記念撮影する来場者

濱田護国神社 慰霊大祭

慰霊大祭

4月12日(木)、尊い命を国のために捧げられた二万三千柱の御霊を慰める濱田護国神社慰霊大祭に出雲駐屯地を代表して、第13偵察隊の岩根士長、村上士長がラッパ隊として参加協力した。

あいにく、出雲駐屯地司令は大田市を襲った地震による災害派遣対応のため欠席となったが、ラッパ隊2名の隊員は黙祷時に「追悼の符」を堂々とした姿勢で吹奏し、出雲駐屯地代表としての任を見事に果たした。

慰霊大祭参加者達は御英霊に対して哀悼の誠を捧げるとともに、今日の平和を引き続き維持していくと改めて決意を強くした一日となった。



▲ ラッパ吹奏する隊員

▼ 慰霊大祭の様子



山陰モーターフェス2018支援

出雲駐屯地は、4月14日(土)くにびきメッセ(松江市)で行われた山陰モーターフェス2018を支援した。

第13偵察隊は87式偵察警戒車、軽装甲機動車及び偵察用オートバイで展示を行うとともに、個人装備のヘルメット、防弾チョッキ、背のうの試着体験を行った。あわせて自衛隊島根地方協力本部が、ミニ制服の試着及びグッズ配布を行った。

来場者は試着体験の装備の重さに驚きや感激の声を上げ、普段触れる事のない乗り物の試乗体験や隊員とのトークで盛り上がり、自衛隊コーナーは大いに賑わった。

天候はいよいよの雨模様であったが、約9,000人の来場者に対し、自衛隊への関心と理解を深めて頂くとともに、真摯を広報し、防衛基盤の育成を図ることができた。



会場の様子



▲ 隊員と記念撮影する来場者



▲ ミニ制服を着て試乗する少年

隊内生活体験支援

出雲駐屯地は、4月24日から26日まで、島根県内企業の隊内生活体験を支援した。新社員の入社に伴い、団体行動の基礎と研修を兼ねて自衛隊に生活体験を希望する企業が増えているなか、今回は2泊3日の隊内における集団生活が実施された。

参加したのは株式会社中筋組、まるなか建設株式会社、株式会社ナカサン、日本製紙株式会社、福岡商事株式会社、日本海信用金庫、株式会社イワタクリエイトの7社から合計23名(うち女性7名)で、第13偵察隊4名、第304施設隊3名合わせて10名の隊員が訓練を担当した。

初日は基本教練・営内服務と自衛隊員の基本となる教育訓練体験及びロープワーク体験が実施され、課外は隊員交際の意見交換会に花が咲いた。

2日目は徒步行進を実施し、出雲市の著名なスポット「出雲ドーム」「出雲大社」を巡る約21kmのコースを行進した。普段歩かない距離に苦しいながらもお互いを励ましあつて全員が完歩した。

2日目の後段は宿泊用の天幕設置を実施した。テント宿泊が初めての体験者もあり当初は戸惑う者も多かったが、徒步行進の疲れが残る中、全員で協力して設置した。

最終日は宿営資材の整備及び基本教練判定を実施した。宿営資材の整備では宿営で使用した天幕、簡易ベッド、シーツ等を手分けして整備した。基本教練の練度判定は各動作のチェックリストに基づいて厳正に実施され、隊内生活体験間で習得した動作の集大成とした。

3日間という短い期間ではあったが、参加者達は普段とは違う団体生活に戸惑いと不安を感じながらも、互いに協力することや集団における規律の重要性等を体得して駐屯地を後にした。

また、出雲駐屯地としては、今後これらの支援を通して自衛隊に対する親近感の醸成及び防衛基盤の育成に寄与していくこととしている。



基本教練の様子



徒步行進で闊歩する体験者



協力して天幕設置

第304施設隊積雪地訓練

第304施設隊（隊長・石川2佐）は、平成30年1月9日から1月26日までの間、積雪地訓練を実施して積雪寒冷地における各種行動能力の向上を図った。

当初行われたスキー技術訓練（前段1月9日から12日、後段1月15日から18日）では、大山ホワイトリゾートスキー場のゲレンデ等を使用し、傾斜地及び平地における移動技術の練習を行った。各期間の最終日には、検定を行った。各人の練習度を把握した。

続いて予定していたスキー機動訓練は、暖かい南風の影響を受け大幅に積雪が減少したため、実施できず、寒波到来による積雪を待ち、1月26日に三瓶山東の原において実施した。

隊員は、約15kgの背負う背負い平地及び傾斜地を吹雪の中、上部隊行動能力向上と踏破した。



▲ スキー検定（機動）



▲ スキー検定（滑降）



▲ スキー技術訓練

転入部隊長

第132地区警務隊 出雲連絡班

3等陸尉 高田 浩史



この度、第132地区警務隊出雲連絡班長に就任しました高田3尉です。私は入隊以来、平成26年7月まで第8普通科連隊に所属し職種変更後の翌月から海田市駐屯地で勤務してまいりました。陸曹の頃、自動二輪集合訓練に参加したことがあり、出雲駐屯地で約1ヶ月過ぎたことがあり、出雲駐屯地での生活が、とてもアットホームな雰囲気、駐屯地で、隊員の方からも親切に接して頂いた印象が強く残っています。

約2年ぶりの出雲駐屯地ですが、今も変わりなく人の温かさを感じ、このような環境下で勤務できることを大変嬉しく

入隊年月日 平成17年3月28日
出身地 福岡県
趣味・嗜好 ランニング
主要部隊歴
平成17年 第8普通科連隊 新隊員教育隊入隊（米子）
平成17年 第8普通科連隊（米子）
平成26年 第132地区警務隊（海田市）

家族もこの出雲で共に生活しており、小学校と幼稚園に通う子供がいます。また、ランニングを趣味としています。職務上のことだけでなく、学校行事や趣味を通じ、声をかけて頂ければ幸いです。私自身もいろいろな方向から駐屯地の皆様と接していきたいと思っております。駐屯地司令、業務隊長をはじめ、各部隊の皆様のご支援、ご協力の程宜しくお願いします。

第312基地通信中隊 出雲派遣隊長

3等陸尉 針谷 佳孝



この度、第26代第312基地通信中隊出雲派遣隊長に就任しました針谷3尉です。初めての中部方面隊勤務で不安と楽しみを覚えつつ出雲の地を踏みました。市街に出ればショッピングモールもあり海や山など自然に囲まれ、出雲大社をはじめとする旧跡も多く、さらに、出雲そばやワイン等もあつ

入隊年月日 平成24年3月27日
出身地 茨城県
趣味・嗜好 読書、釣り
主要部隊歴
平成24年 第117教育大隊入隊（武山）
平成24年 第1高射特科大隊（駒門）
平成28年 幹部候補生学校（前川原）
平成29年 第1通信大隊（練馬）

派遣隊員一同、常続不断的通信の確保はもちろん、駐屯地のニーズにあつた通信に関するサービスを提供できるように邁進していきたいと思っております。駐屯地司令、業務隊長をはじめ、各部隊の皆様にお世話になると思いますが、精一杯頑張っていきますので、よろしくお願ひします。



永年の勤務お疲れ様でした。

祝 定年退官



駐屯地業務隊 准陸尉 石畑 勝巳 (5月12日付) 帰住先:大田市



駐屯地業務隊 3等陸佐 荒木 昌 (5月2日付) 帰住先:出雲市

9月定年退官予定者

13日 業務隊長 陸曹長 佐々木 孝晴

7月定年退官予定者

13日 業務隊長 陸曹長 上田 勝
19日 偵察隊長 陸曹長 竹田 栄

人事往来

転出者

- 部隊長
 - ▽基地通信隊
 - 2等陸尉 安野 正樹
 - (第312基地通信中隊米子派遣隊
 - || 米子)
 - ▽警務隊
 - 2等陸尉 阪本 信次
 - (第132地区警務隊||山口)
- 幹部
 - ▽偵察隊
 - 3等陸佐 新谷 和久
 - (北部方面總監部||札幌)
 - 1等陸尉 松田 康秀
 - (第11偵察隊||真駒内)
 - ▽業務隊
 - 1等陸尉 小泉 紀子
 - (自衛隊阪神病院||川西)
- 陸曹・陸士
 - ▽偵察隊
 - 陸曹長 川上 準治
 - (自衛隊島根地方協力本部||浜田)
 - 1等陸曹 濱村 一三三
 - (出雲駐屯地業務隊||出雲)
 - 2等陸曹 若槻 健志
 - (第15普通科連隊||普通寺)
 - 2等陸曹 宮原 潤也
 - (第13戦車中隊||日本原)
 - ▽施設隊
 - 2等陸曹 辰己 晃崇
 - (第4施設団本部付隊||大久保)
 - 2等陸曹 山崎 学
 - (第2施設群第368施設中隊
 - ||湯布院)
 - 3等陸曹 前田 章
 - (第15普通科連隊||普通寺)
 - 3等陸曹 佐藤 哲治
 - (第2施設群第367施設中隊||飯塚)

転入者

- ▽第1直接支援隊
 - 3等陸曹 岡 芳幸
 - (第104施設直接支援大隊||大久保)
- ▽偵察直接支援小隊
 - 2等陸曹 引野 純生
 - (日本原駐屯地業務隊||日本原)
- ▽会計隊
 - 3等陸曹 坂本 洋一
 - (第408会計隊||守山)
- ▽防衛事務官等
 - 行(一)4 平光 文夫
 - (徳島駐屯地業務隊||徳島)
 - 行(一)4 久保田 雅彦
 - (自衛隊徳島地方協力本部||徳島)
 - 行(一)2 山之内 誠人
 - (今津駐屯地業務隊||今津)
- 部隊長
 - ▽警務隊
 - 3等陸尉 高田 浩史
 - (第132地区警務隊||海田市)
 - ▽基地通信隊
 - 3等陸尉 針谷 佳孝
 - (第1通信大隊第2中隊||練馬)

- 幹部
 - ▽偵察隊
 - 2等陸尉 石谷 幸彦
 - (第11偵察隊||真駒内)
 - 2等陸尉 敷 孝高
 - (第11偵察隊||真駒内)
 - ▽業務隊
 - 1等陸尉 大塚 摂子
 - (自衛隊阪神病院||川西)
 - 1等陸尉 尾村 厚志
 - (松山駐屯地業務隊||松山)
 - 准陸尉 三浦 武浩
 - (防衛研究所||市ヶ谷)
- 陸曹・陸士
 - ▽偵察隊
 - 2等陸曹 園山 好人
 - (第1機甲教育隊||駒門)
 - 3等陸曹 平井 大毅
 - (第1戦車大隊||駒門)
 - 3等陸曹 前島 達也
 - (第12偵察隊||相馬原)
 - ▽施設隊
 - 1等陸曹 川本 真一
 - (第2施設群第368施設中隊||湯布院)
 - 2等陸曹 三宮 英允
 - (第14施設隊||徳島)
 - 3等陸曹 宮本 孝志
 - (第2施設群本部管理中隊||飯塚)

- ▽業務隊
 - 1等陸曹 濱村 一三三
 - (第13偵察隊||出雲)
 - 2等陸曹 河原 秀明
 - (第47普通科連隊||海田市)
 - 2等陸曹 山下 勝弘
 - (第46普通科連隊||海田市)
 - 3等陸曹 光 幸太郎
 - (衛生学校||三宿)
- ▽第1直接支援隊
 - 1等陸曹 轟田 恭子
 - (第104施設直接支援大隊||大久保)
 - 2等陸士 山口 竜
 - (中部方面後方支援隊||青野原)
 - 2等陸士 嶺 芙美子
 - (中部方面通信群||伊丹)
- ▽防衛事務官等
 - 行(一)4 兒玉 達己
 - (伊丹駐屯地業務隊||伊丹)
 - 行(一)4 藤田 達也
 - (金沢駐屯地業務隊||金沢)
 - 行(一)1 野尻 史鋭
 - (関東補給処通信電子部||霞ヶ浦)

「活躍を期待します！」

出雲駐屯地創立65周年記念行事

市中パレード

平成30年 9月23日

第13音楽隊演奏 9:35-9:55

記念式典・市中パレード 10:00-10:50

装備品展示 11:00-12:00

出雲駐屯地

陸上自衛隊出雲駐屯地創立65周年記念行事

市中パレード

とき 平成30年9月23日(日)

ところ 出雲市くまびき中央通り
(出雲市今市町駅通り)

内容 音楽隊演奏、観閲式、観閲飛行(装備品パレード) 装備品展示等、家族連れで楽しめるイベントです!

お問い合わせ 陸上自衛隊出雲駐屯地広報室
(08553-2111045)

出雲駐屯地HP

